

教育に関する事務の点検及び評価報告書

(平成 29 年度分)

平成 3 0 年 8 月
南 部 町 教 育 委 員 会

【目次】

第1 点検・評価制度の概要	1
1. 事務の点検・評価の考え方	1
2. 具体的な事務の点検・評価の方法	1
3. 事務の分類と評価	1
第2 事務事業ごとの点検・評価	2
I. 教育委員会の活動	
1. 教育委員の構成	2
2. 教育委員会の活動状況	
(1) 委員会議の開催状況	2
(2) その他の活動状況	3
II 教育委員会が管理執行する事務	3
III 各課の事務の点検及び評価の結果	4～25
1. 学校教育環境の充実（学校教育課）	
(1) 学校教育施設・環境の整備	4～8
(2) 学校教育内容の充実	8～10
(3) 教育支援センター事業の実施	10～12
2. 生涯教育の充実（生涯学習課）	13～14
3. 文化の振興（生涯学習課）	15
4. 総合会館・公民館・文化ホール事業（生涯学習課）	16～18
5. アルカディア文化館（生涯学習課）	
(1) 南部図書館・富沢図書館	19
(2) 町立美術館	19～20
6. 生涯スポーツの充実（生涯学習課）	
(1) 施設の充実と効果的な活用	21～22
(2) スポーツグループの育成とスポーツの生活化	22～24
(3) 組織の充実と連携	24～25

第1 点検・評価制度の概要

1. 事務の点検・評価の考え方

南部町教育委員会では、学校教育、生涯学習、文化、スポーツ・レクリエーションなどの分野で様々な施策に取り組んでいますが、これらの施策を充実させる上で各施策の進捗状況や町民の皆様及び関係各位の意見を踏まえることは非常に重要なことです。また政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

このようなことから「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、自らの権限に属する事務の管理及び執行について、点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、町民に公表する取り組みを平成 20 年度から実施しています。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務「前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。」の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2. 事務の点検・評価の方法

平成 29 年度に南部町教育委員会並びに教育委員会各課において執行された事務事業について、教育委員会内部で点検評価する。

3. 事務の分類と評価

教育委員会所掌の事務事業を次のとおり 3 分類する。

- I 「教育委員会の活動」
- II 「教育委員会が管理執行する事務」
- III 「教育委員会各課の執行する事務事業」

◇ 達成度の評価

「III 教育委員会各課の執行する事務事業」について、達成度を 5 段階で評価する。

- 5 極めて満足である (順調に達成している)
- 4 満足である (概ね順調に達成している)
- 3 普通 (達成見込みだが若干課題がある)
- 2 不満足である (順調でない)
- 1 極めて不満足である (達成しなかった)
- 評価しがたいもの

第2 事務事業ごとの点検・評価

I 教育委員会の活動

1. 教育委員の構成

南部町教育委員（2017年4月1日～2018年3月31日）

職 名	氏 名	任 期	備 考
教 育 長	渡辺 拓雄	2015年4月1日 ～2018年3月31日	教育長就任 2015年4月1日
教 育 長 職務代理者	望月 恵美	2015年5月10日 ～2018年5月9日	教育長職務代理者就任 2017年5月1日
委 員	入月 一巳	2015年5月10日 ～2019年5月9日	
〃	四條 勉	2016年5月1日 ～2020年4月30日	
〃	芦澤 和彦	2017年5月1日 ～2021年4月30日	

2. 教育委員会の活動状況

(1) 委員会議の開催状況

南部町教育委員会の会議は原則として公開する。また毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催する。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む。）が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けている。

平成29年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりである。

会 議	開催日	議案件数	報告件数	その他
平成29年 定例会第4回	4月7日	4	6	3
〃 第5回	5月9日	2	2	8
〃 第6回	6月5日	0	7	2
〃 第7回	7月6日	1	4	6
臨時 第1回	7月26日	1	0	0
定例会第8回	8月21日	3	3	2
〃 第9回	9月8日	1	4	3
〃 第10回	10月5日	1	2	5
臨時 第2回	10月27日	0	1	0
定例会第11回	11月8日	2	2	5
〃 第12回	12月6日	1	2	4
平成30年 〃 第1回	1月12日	5	3	2
〃 第2回	2月8日	2	5	2
〃 第3回	3月13日	3	3	3
合 計		26	44	45

(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議への出席以外に、各会議、関係行事等へ出席している。
なお、平成27年度より地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、南部町総合教育会議が設置され、平成29年度は3回の会議が開催された。その他主な活動は次のとおりである。

- ・山梨県町村教育長会 ・山梨県教育委員会連合会
- ・峡南地区教育委員会連合会総会及び研修会 ・
- ・南部町教育委員先進地視察研修 ・学校訪問
- ・各小中学校入学式 ・卒業式
- ・各小学校運動会 ・中学校学園祭
- ・町民体育祭 ・成人式典 ・町内一周駅伝大会
- ・その他各種イベント事業への出席

Ⅱ 教育委員会が管理執行する事務

教育委員会が管理執行する事務は南部町教育委員会事務委任規則に規定されている。
平成29年度に管理執行した事務については下記のとおりである。

(1) 教育委員会規則及びその他の重要な規定の制定及び廃案すること。

○要綱の制定

- ・南部町立（仮称）Aグループ小学校統合準備委員会設置要綱

○要綱の改正

- ・南部町教育支援センター設置要綱の一部改正

(2) 教育予算その他の議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること。

平成29年度9月補正予算、平成29年度12月補正予算、平成29年度3月補正予算、平成30年度当初予算、全て原案どおり了承される。

(3) 県費負担の教職員の人事の内申に関すること。

- ・人事異動に際し、37名の異動の内申を行なった。

(4) 教育委員会の所管する各種委員会の委員の任命及び委嘱に関すること。

- ・学校給食共同調理場運営委員会 委員17名
- ・学校評議員 委員12名
- ・学校運営協議会 委員15名
- ・社会教育委員協議会並びに公民館運営審議会 委員14名
- ・スポーツ推進審議会 委員8名

Ⅲ 各課の事務の点検及び評価の結果

1. 学校教育環境の充実（学校教育課）

（1）学校教育施設・環境の整備

① 学校施設環境整備事業

* 事業概要

- ・小中学校に学校図書の整備を行った。

* 成 果 [評価 4]

[小中学校施設の学校図書の整備]

- ・睦合小学校 787, 755円（図書369冊 CD2枚 DVD7枚）
- ・栄小学校 765, 611円（図書441冊 CD2枚）
- ・富河小学校 732, 045円（図書439冊 CD8枚）
- ・万沢小学校 697, 360円（図書334冊 CD2枚 DVD11枚）
- ・南部中学校 854, 471円（図書431冊 CD5枚）

* 課 題

学校図書の購入については、限られた予算の中で計画的に進める必要がある。

② 地域ぐるみ学校安全整備事業（スクールガードリーダー）

* 事業概要

児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取り組みを実施することを目的とする。

本町では、平成17年より1名のスクールガードリーダーを委嘱し、小学校4校に対して登下校の際の子どもへの指導、見守り隊への指導、通学路の安全確認等を実施している。スクールガードリーダーは、主として学校周辺に登校時間帯及び下校時間帯にそれぞれ2時間程度、4小学校を曜日変わりで巡回している。

- ・スクールガードリーダー報償費 203, 950円

* 成 果 [評価 4]

事業を開始してからは特に問題等は起きておらず、事業効果は大きい。

* 課 題

今後も子どもたちの安全確保のため事業を継続していくが、4小学校の見守り地域が広範囲に及ぶため各校の見守りボランティアと連携するとともに、通学路付近の住民に「ながらパトロール」の依頼をするなど、全町的に効率的な見守りを行うことに努める。

③ 日本スポーツ振興センター災害給付金事業

* 事業概要

各小中学校に在学する児童・生徒の不慮の災害に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結び、学校の管理下において児童生徒が災害に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者に対して行う制度。町では全校児童生徒がこの制度に加入しており、その共済掛金は町が負担している。

- ・共済掛金合計額 446, 140円（対象：小学校287人、中学校189人）
- ・実績（給付金合計）474, 250円（対象：小学校21件、中学校46件）

*** 成 果 [評価 5]**

町では医療費助成制度により、18歳まで無料化されているが、この災害給付金制度では療養に伴って要する費用として加算される分（1/10）があり保護者にとっては有利である。学校でもその点を説明し、この制度の利用に努めている。

*** 課 題**

学校では子どもの安全確保に努めているが、この制度は長期休暇中にも対応できるため、不慮の災害に備え保護者に対して安心を与えられる点が有効である。

④ スクールバス運行事業

*** 事業概要**

南部中学校において、富河・万沢地区の生徒を対象にスクールバスを運行する。また、学校と居住地が遠く離れている井出・十島・万沢地区の児童生徒及び通学路（国道）が危険な楮根地区児童も、スクールバスで送迎している。

・総事業費	21,151,204円
（内 訳）	
・運行委託料	17,282,000円
・修繕料	1,973,140円
・燃料費	1,896,064円

*** 成 果 [評価 4]**

児童生徒の通学にかかる負担を軽減する。

- 1) 富河地区の生徒の輸送（54名）
- 2) 万沢地区の生徒の輸送（19名）
- 3) 井出・十島地区の児童生徒の輸送（27名）
- 4) 楮根地区の児童の輸送（7名）

*** 課 題**

スクールバス乗車時間の最長は徳間地区生徒で約25分間である。遠距離生徒が安全かつスムーズに登下校できるよう運行時間、運行ルート、乗降場所等の調整を図る。また、スクールバス利用による児童生徒の心身疲労の軽減、運動不足の解消に努める。

⑤ 遠距離通学費補助事業

*** 事業概要**

学校と居住地が遠く離れている寄畑・井出・十島地区から、通学する児童の回数券購入の補助を行っている。対象校は栄小学校。栄小児童は通常スクールバスで通学しているが、夏休みの日直や学年別の変則授業時にJRを利用する。

補助金は、原則として児童の保護者に対し交付する。

決算額

栄小 → 720円（電車：JR回数券）

学校毎の対象者数

栄小 （井出7名、十島8名）

*** 成 果 [評価 5]**

保護者の経済的負担がなく、安全に登下校できている。

*** 課 題**

平成29年度より、南部中生徒は学校や保護者の要望から部活動等の時間や通学途中の安全面を考慮し、JR通学（定期券）からスクールバス通学へ変更している。

⑥ 学校給食共同調理場運営事業

*** 事業概要**

平成25年4月に2つの調理場を統合し、南部町学校給食共同調理場をスタートさせ、調理の集中化により一層の効率化を図った。安心して安全な栄養面も十分に配慮した美味しい給食を提供することにより、子どもに望ましい食習慣を身につけさせることを目的に、共同調理場を設置している。

また、調理施設の維持管理や衛生面の充実に努めるほか、給食費負担金の収納確保にも取り組んでいる。

・小学校：347食、中学校：215食

1) 学校給食費負担金

歳入決算額 27,740,097円

小学校 月額4,300円（年額 47,300円）

中学校 月額4,800円（年額 52,800円）

上記の給食費に対して、町から1割相当額を上乗せ補助している。

2) 学校給食運営費（決算額）

歳出決算額

58,876,948円（内、賄材料費30,938,638円）

3) 学校給食提供日数

小学校197日、 中学校186日

*** 成 果 [評価 4]**

食材料については地産地消を取り入れ、町内JAの協力のもと地元生産者との生産者部会を定期的に開催し、季節感や風習に因んだ郷土料理や旬の野菜等を献立に加え、献立内容の充実を図っている。

*** 課 題**

毎日、約560食を調理、配送することになるので適切な人員を配置するとともに、調理場では仕込み、調理、配送に至るまでスムーズな作業ができるよう効率的な体制づくりを図る。また、より豊かな学校給食の実現と一層の効果的な給食運営を図るためのひとつの手法として、給食調理業務の民間委託についても検討する必要がある。

地産地消の推進をしているが、品質管理の点で難しい面もある。

⑦ 学校給食費助成補助事業

*** 事業概要**

少子化対策ならびに子育て支援に資することを目的として、義務教育対象の子どもが3人以上いる町内在住の保護者に対し、第3子以降の給食費を助成する。ただし、未納及び滞納のない世帯が対象である。

対象世帯数：24世帯 助成金額合計 1,135,200円

*** 成 果 [評価 5]**

対象者に通知し申請を促しているため100%の方がこの制度を利用しており、好

評を得ている。学校給食費に関心を持つきっかけとなり、収納向上に貢献している。

*** 課 題**

子育て支援には成果があると思われるが、少子化は進行しており、他施策との連携による効果の拡大等を図る必要がある。

⑧ 要保護及び準要保護児童生徒への就学援助事業

*** 事業概要**

経済的理由等により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な費用(学用品費、修学旅行費、給食費等)を、認定基準額(所得の金額)に応じて認定審査を行った上、支給する。

区 分	受給者	援助額
睦合小(準要保護)	9 人	482,400 円
栄 小(〃)	5 人	280,220 円
富河小(〃)	6 人	355,510 円
万沢小(〃)	4 人	290,970 円
南部中(〃)	17 人	1,571,020 円
星陵中(〃)	1 人	13,650 円
計	42 人	2,993,770 円

◇準要保護者:児童扶養手当受給者

(30世帯42人)

◇要保護者:生活保護で対応
(0世帯0人)

*** 成 果 [評価 4]**

対象者に対しては、民生主任児童委員等と連携し申請漏れのないように手続きの勧奨を行っている。ひとり親家庭に対する経済的支援の効果は大きい。

*** 課 題**

前年比4名増、援助額は237千円の増となった。援助を必要とする児童生徒(母子、父子家庭)は増加傾向にあり、予算措置(町単独費用)が課題となる。

⑨ 心の教室相談事業

*** 事業概要**

心の教室相談員を町内の中学校に配置し、適切な教育相談や基本的な生活習慣等の指導を行い、悩みや不安、ストレスを解消する。

*** 成 果 [評価 4]**

より身近なところに相談できる場があり、生徒達の悩み、不安、ストレスが和らぎ、心にゆとりを持てるようになることは、生徒が充実した学校生活を送ることに繋がっている。また、相談員は学校や関係機関との連携役を担っている。

*** 課 題**

相談員は、生徒が抱える諸問題について、担任、養護教諭、関係機関、教育委員会との連携が求められるが、早期対応のためには、さらなる機能強化を図る必要がある。

⑩ コミュニティスクール導入等促進事業

*** 事業概要**

平成28年5月1日付けで、学校運営協議会の設置校として南部中学校を指定した。

協議会は15人の委員で構成され、学校経営基本方針の承認、学校評価結果の確認、学校経営へ地域の声を反映すること等を主題に協議している。

・国補助金 172,000円

*** 成 果 [評価 4]**

協議会を通して、今まで学校経営に参画してこなかった人達から意見をいただくことができるようになった。地域住民が学校活動に参画するボランティアリストを作成し、学校活動に携わる体制を整えた。

*** 課 題**

南部中学校学校運営協議会の学校運営を検証し、町内の4小学校へ2020年導入を検討していく。

⑪ 小学校適正配置事業

*** 事業概要**

集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することで思考力や表現力、判断力、問題解決能力を身に付け、さらに自ら課題を発見し主体的に学び合う協働的な学習が可能となる教育環境を整えるために、小規模化が進む富河小学校と過小規模校となった万沢小学校を統合する。

*** 成 果 [評価 3]**

町民理解を深めるために説明冊子を全戸配布し、17公民館で教育懇談会を開催した。理解度を把握するための全戸対象アンケートの回答率は38.6%。「理解できた」「ある程度理解できた」の回答は全体の90.6%だった。

*** 課 題**

町内全体の関心度を高めることができたとはいえず、今後も理解と合意形成に努める必要がある。

(2) 学校教育内容の充実

① 町費単独負担教員及び非常勤講師設置事業

*** 事業概要**

小学校における複式学級解消並びに、中学校におけるきめ細かな教育や教員の免許外教科の解消のため、町費単独負担教員及び非常勤講師を配置し適正な教育指導を行う。

*** 成 果 [評価 5]**

学級編制において県基準による教員配置数を町費単独負担教員で補い、適正な教育指導と円滑な学校運営を図ることができた。

町単教員数：小学校2名、中学校3名

非常勤講師：中学校2名

事業費：18,867,414円

*** 課 題**

中学校教員は担当教科も関係するため、人材確保が課題となる。また、小学校において複式学級が解消された際は、少人数学級のデメリットを解消する学級運営を行う

必要がある。

② 小中学校特別支援教育支援員配置事業

* 事業概要

小・中学校において、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して支援員（非常勤職員）を配置し、学校生活の支援を行う。

〔特別支援教育支援員〕

障害等により特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活を送るために必要な支援を行う。

* 成果〔評価 4〕

〔特別支援教育支援員〕

- ・学級担任と支援員との連携により、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、障害や実情等に応じた適切な支援を行うことができた。
- ・学級担任の負担を軽減することができ、学級担任による他の児童生徒への指導の充実、円滑な学級運営を図ることができた。

* 課題

専門的な支援員の人材確保が課題である。また、今後さらに支援を必要とする児童生徒が増加すると予想され予算措置が必要となる。

③ 中学校外国語指導助手設置事業

* 事業概要

語学指導を行なう外国語指導助手（ALT）として民間派遣（㈱インタラック）1名が南部中学校で指導している。

* 成果〔評価 4〕

生きた英語に数多く触れることで、英語学習への意欲・関心が向上し、英語を聞く・話すといった基礎的なコミュニケーション能力を高めることにつながる。
また、異文化についての意識が高まることにより、国際理解教育が推進される。

* 課題

助手の派遣は委託契約のため、委託外の校外活動等の参加、急な授業時間の変更に対応が難しい。

④ 小学校外国語指導助手設置事業

* 事業概要

小学校学習指導要領において、小学校5年生及び6年生は週1コマ「外国語活動」を実施することになっている。外国語指導助手（ALT）民間派遣（㈱インタラック）1名が、町内4小学校において、英語の授業を行っている。

* 成果〔評価 4〕

外国語活動において、小学1年から6年までが外国語指導助手（ALT）とふれあうことができ、児童の英語に対する関心が高まり、意欲をもって学習に取り組めるようになった。

*** 課 題**

十分なA L Tの配置が困難な自治体が多い中、4校全学年A L Tによる週1コマの活動時間が確保できている。しかし、来年度から新学習指導要領の移行期間を迎え、小学校での英語教育拡充に向けた、増員も視野に入れておく必要がある。

⑤ 学校評議員制度の実施

*** 事業概要**

地域に開かれた学校づくりをより一層推進するため、各学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民の意見を幅広く聞き、学校と地域が連携しながら特色ある教育活動を展開する学校運営を推進する。

*** 成 果 [評価 4]**

各学校ではこうした機会に学校での教育活動について協議し、家庭・地域の提言や意見を取り入れるとともに、学校だよりなどにより学校の様子を知らせ、開かれた学校づくりに努める。

*** 課 題**

学校評議員制度による地域に開かれた学校づくりが、学校運営協議会設置へと発展させていくことが課題である。

⑥ 山梨青森南部町児童交流会実施事業

*** 事業概要**

南部氏の縁に結ばれた、両県南部町児童が、互いの町の歴史や文化、身近な環境などふるさとの特色や学校等を紹介しあい、新しい時代の主役となる子どもたちの交流を深めるため毎年夏休み期間を活用し実施している。

*** 成 果 [評価 4]**

平成29年度は青森県南部町から30名の児童を迎え、両町合わせて12校60名の児童が3日間の日程で交流会を実施した。1日目の歓迎式典、仲間づくりでは表情に硬さも見られたが、すぐに打ち解け、2日目の和紙づくり、砂金取り体験活動を通じて、両県南部町の児童は自然と会話ははずむようになり、お互いの地域の歴史や文化を共有し、さらに心を通じ合うことにより、たくさんの仲間を作ることができた。

日 時 平成29年7月26日～28日（3日間）

交流会：仲間づくりゲーム、なかとみ和紙の里、身延金山博物館

参加者数 青森南部町：8小学校30名・引率10名

山梨南部町：4小学校30名・引率18名

参加費用 1人 2,000円

事業費計 692,447円

*** 課 題**

平成29年度は青森から交流団を迎えた。平成30年度に青森南部町を訪問する際は、児童一人ひとりが目的意識を持って参加する取り組みが求められる。

（3）教育支援センター事業の実施

① 適応指導教室事業

*** 事業概要**

登校に不安を抱える児童生徒に対し、教員OB等のスタッフが学習の支援などを行い、自立に向けて活動する「チャレンジ教室」を平成26年から南部町総合会館1階に開所した。チャレンジ教室の開所時間は、月曜日から金曜日までの午前8時30分～午後0時30分までである。

*** 成 果 [評価 4]**

参加者は2人、開校日数64日。通級生徒は数学、英語のほか職場見学などに参加し、進路を決定することができた。スタッフは教員OBが務め、学校と密接に連携しながら個々に応じた学習支援を行うことができた。

*** 課 題**

不登校児童生徒の早期対応に努めるとともに、不登校の背景は集団への不適應、学力不振、友達や教師との人間関係等様々な原因によるものなので、学校、スクールソーシャルワーカー、家庭、教委等関係者が情報を共有し、個々の状況に合った最善の対応を検討する必要がある。また、チャレンジ教室から学校への復帰に努める。

② 教職員の指導力向上研修事業

*** 事業概要**

2017年に導入した教育ICT機器の効果的活用を目指し、夏季休業中に町内小中学校教員を対象に研修会を実施した。また2020年から実施される小学校高学年英語の教科化、中学年への外国語活動に向けた研修会を同日に実施した。

*** 成 果 [評価 4]**

共に体験型の研修であり、ICT研修ではタブレットPCを有効なツールとして活用するためのノウハウを学ぶことができた。英語研修は懇切丁寧な指導を受け、意欲を持って取り組む心構えが醸成された。ICT研修は48名、英語研修は38名が参加した。

*** 課 題**

研修で学んだことを実際の授業でどう生かしていくかが課題となる。

③ 学力向上対策事業

*** 事業概要**

学習意欲の高揚と学力向上を図るため、小学4年生～中学3年生を対象に自学自習の場「なんぶ未来塾」を開所した。講師は教員OBが務め、毎月2回、土曜日に開催した。

*** 成 果 [評価 4]**

参加者は小学生31名、中学生28名、開校日数は小学生42日（延べ477人）、中学生42回（延べ358人）。

*** 課 題**

開催時間は部活動時間等にも配慮し、参加しやすい時間帯を設定する。学校と連携を図り、参加の勧奨を行う。

④ 特色ある南部町教育事業

*** 事業概要**

特色ある南部町教育として、かつて蒙軒学舎で行われた英語教育に本町の特色を見出し、生きた英語教育を目的に外国人講師とともに過ごす「イングリッシュキャンプ」を開催した。

*** 成果 [評価 4]**

平成29年8月3日～4日に静岡県立朝霧野外活動センターで開催し、小学5年～6年生の36人が参加した。講師はALT5人、日本人講師4人が務めた。ゲームやカレー作りを通じて、英語に親しむことができた。

*** 課題**

英語の楽しさを感じるだけでなく、確かな表現をねらいとして一人ひとりが表現できる場面設定が必要である。

⑤ 平成29年度「N授業」

*** 事業概要**

多くの児童がともに学習し、多様な考えに触れるなど学びを共有し、広める機会として3年生から6年生を対象に年4回N授業（町内小学校4校の合同授業）を実施している。

*** 成果 [評価 4]**

4校の児童が一つの授業に参加し、多様な考えに触れることができ、学びを深め、広めることができた。互いに意見を述べたり、聞きあったりすることで交流も深まり学習意欲もわき楽しみながら学ぶことができた。

*** 課題**

N授業の基本的考え方、実施については意味あることと認識しているが、教材研究、資料づくりなど教師の負担感は否めない。また、事前研究会など4校の日程調整が難しい。

⑥ ICT教育支援事業

*** 事業概要**

平成29年7月にタブレットPCを小中5校に導入した。「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善をねらいとして、PC・インターネットを学習活動に利用する。

*** 成果 [評価 4]**

各校最多クラス人数分のタブレットPCを導入し、画像転送装置を活用した授業をクラス単位で実施することができた。教育支援センターに指導員を配置し、教員の操作技術補助、教材作成、授業支援等を進めている。

*** 課題**

更なる活用を模索するとともに、補助教材の選定、1人1台端末の検討を進める。

2. 生涯学習の充実（生涯学習課）

① 生涯学習の推進

* 事業概要

各種講座・教室・事業を通じて、町民が学習する機会を提供する。
アルカディアフェスタ、成人式等を開催した。

* 成 果 [評価 4]

【アルカディアフェスタ2017】

平成29年9月17日にアルカディア南部総合公園において、それまで実施していた『生涯学習フェスティバル』『スポーツフェスタ』『図書館フェスティバル』を統合し、あらゆるライフステージの町民が一同に集い、生涯にわたる学習意欲の促進と健康増進を図るイベントとして開催した。

当日は各種表彰、パフォーマンス、ミニコンサート、人形劇、スポーツ鬼ごっこなどのイベントに加え施設の無料開放を実施した。

参加者数 400名

【成人式】

平成30年1月6日に文化ホールにおいて、成人者（男性34名、女性45名）を祝福する式典を開催した。

* 課 題

「アルカディアフェスタ」は初開催であったが、来場者数も多く、効率的なイベント運営という点から見ても概ね良好な結果を得られた。しかし細かく見ていくと初開催という事もあり細かい改良は今後の課題であると感じている。

全てのイベント運営において人員の減少や参加者の意識変化など今まで通りのイベント運営が出来なくなっており転換期に差し掛かったことを感じる。イベントの見直しと集約について検討する必要がある。

② 青少年教育の推進

* 事業概要

青少年の人間形成において家庭の果たす役割は大きく、特に核家族化が進みつつある現在、個としての家庭では、その役割の発揮に限界があり、地域の皆で支えあって青少年の教育や社会問題の解決に取り組まなければならない。町としても、少年期から青年期にかけ、社会参加活動への機会を提供するための青少年教育を推進する。

* 成 果 [評価 3]

子どもクラブ連合育成会では、アルカディアフェスタにおいてスポーツ鬼ごっこ大会を開催し体力の向上を図った。1月25日～28日には新春書道展を開催した。

高校生保護者会では、子どもの夏休み中に町内4地区において「愛のパトロール」を実施。警察署と合同でパトロールを行うなど、青少年の健全育成に努めている。

町民会議では、町をはじめ関係機関や団体と緊密に連携して、夏季生活指導会議や冬季生活指導会議を開催し、育成活動に取り組んでいる。

* 課 題

警察署との合同パトロール等、地域と連携した青少年育成活動の取り組みを行うことができたが、パトロールの時間帯に対象となる青少年がほとんどいない実情があり、

方法については検討する必要がある。今後も家庭・学校・地域がそれぞれの在り方や役割を認識し、緊密に連携しながら取り組む必要がある。

③ 高齢者教育の推進

* 事業概要

高齢化社会においては、高齢者が経済社会の変化に対応していくために絶えず新たな知識や技術を習得する機会が必要とされる。また、学習を通じての豊かさや生きがいの充足が求められることから、積極的な社会参加を果たすことができるような学習と活動の機会と場を提供し、高齢者教育の振興を図る。

【なんぶいきいき大学】

学習会	月 日	内 容	場 所
第1回	5月18日(木)	『開講式と町長講話』 南部町長 佐野和広氏	活性化センター
第2回	6月15日(木)	『のびのびパートナーシップのすすめ 〜夫婦でハッピーライフを送るためのヒント〜』 医学博士 石倉文信氏	ぴゅあ峡南
第3回	7月25日(木)	『交通安全教室』 南部署・専門交通指導員峡南ブロック	文化ホール
第4回	8月 9日(水)	『地域社会のメンタルヘルス 〜身近な人との上手なつきあい方〜』 山梨県立大学 坂本玲子氏	ぴゅあ峡南
第5回	9月17日(日)	『アルカディアフェスタ2017』	アルカディア 南部総合公園
第6回	10月15日(木)	『町外研修』 山梨県立リニア見学センターと富士山世界遺産センター	山梨県
第7回	11月16日(木)	『内船歌舞伎の世界〜内船歌舞伎義太夫による弾語り〜』 内船歌舞伎保存会 森田守氏	アルカディア 文化館
第8回	12月14日(木)	『認知症地域公開講座』 山梨県立介護実習普及センター	活性化センター
第9回	1月18日(木)	『知っていますか ふるさとの夜空』 星空工房アルリシャ 高橋真理子氏	ぴゅあ峡南
第10回	2月15日(木)	『閉講式と春待ちコンサート』 リードアンサンブル ミュール	文化ホール

* 成 果 [評価 3]

なんぶいきいき大学では健康づくりや生活に密着したテーマなどにより、歌を歌ったり身体を動かしたり楽しく参加できる講義を開講した。また、個人の趣味を広げるためのクラブ活動などを通して、仲間づくりの輪を広げている。

* 課 題

高齢者の社会参加が少なくなっている今日、高齢者世代の趣味も日々変わってきているため、ニーズにあったテーマ設定と、足を運んでもらうための工夫を行い、新規参加者の増加を目標にしていかなければならない。

3. 文化の振興（生涯学習課）

① 文化財保護事業

* 事業概要

文化財は地域の歴史や文化の成り立ちを理解するうえで、欠くことのできない資産である。現在、国指定1件、県指定18件、町指定49件の指定を受けており、文化財審議会委員を中心に書跡や史跡また天然記念物の保護、並びに無形文化財の継承に努める。

* 成 果 [評価 3]

自然災害やき損事件等の案件は発生しなかったため、文化財の保存や表示看板の保全などの取り組みと、文化財保護審議会委員に文化財の保管状況について視察していただくなど文化財の現況を改善するための取り組みを行った。

* 課 題

担当職員が専従でないため、詳細な問合せ及び試掘調査等の専門的業務については難しい部分がある。一定レベルの専門的知識を有する職員の育成と、県の専門機関並びに所有者・管理者・周辺住民等との協力体制の強化、また文化財所有者への制度についての説明等を進め、文化財保護と活用に努めていく必要がある。

② 文化協会等育成事業

* 事業概要

現在の南部町文化協会は、南部地区と富沢地区それぞれの文化協会からなり、別々に事業を行なっている。合併して以来の懸案、両地区の協会が早期に一本化できるように、交流の機会を提供することを目標にして活動を計画していく。

両地区を通じて実施される町民文化祭は、相互の情報交換、交流の場の確保という面で大変重要な事業となっている。文化協会補助金として、町から220万円が支出される。

* 成 果 [評価 4]

長年にわたる両地区の話し合いの結果、両地区の文化協会が統合することが決定した。平成30年2月に南部地区・富沢地区両地区で解散総会が行われ、翌3月に新南部町文化協会設立総会により完全に南部町の文化協会が統合された。

今後より一層の地域間の交流や連携が深まることが期待されている。

* 課 題

長年の懸案だった文化協会の一本化については完了したので、今後は実情に合わせた活動と各団体への助成等について検討していく。

4.総合会館・公民館・文化ホール事業（生涯学習課）

① 各種教室、講座等の主催事業

* 事業概要

中央公民館では、町民を対象とした公民館講座や各種教室を開催している。

【連続講座】

教 室 名		時期・実施回数	受講者数
陶 芸 教 室	午後	月 1 回 (10 回)	11 人
	夜間	月 1 回 (10 回)	7 人
パン作り教室	初級	月 1 回 (6 回)	15 人
	中級	月 1 回 (6 回)	19 人
つ る し 雛 教 室		月 2 回 (6 回)	6 人
手づくりアロマ教室		月 1 回 (10 回)	10 人
ハンドメイド雑貨づくり教室		月 2 回 (10 回)	7 人
手 話 教 室		月 2 回 (9 回)	13 人
写 仏 教 室		1 月実施 (3 回)	13 人

【単発講座】

教 室 名	実施日	受講者数
お 茶 教 室	5 月 15 日	6 人
竹 工 芸 教 室	6 月 14 日	4 人
お や こ 料 理 教 室	7 月 15 日	56 人
	9 月 2 日	
	10 月 15 日	
歴 史 探 訪 講 座	9 月 29 日	35 人
おやこお菓子作り教室	3 月 29 日	28 人

* 成 果 [評価 4]

生涯学習のひとつである生きがいつくりの入口としての役割が確立してきている。
本年度も新規講座として水彩画教室を実施し、好評だった。

受講者自身、この講座がきっかけで趣味として続けていると共に講座以外の事にも
興味の範囲が広がりより活動的になる傾向が見られる。

* 課 題

受講者が以前から受講しているリピーターが多く、新規受講者の開拓が課題である。
新講座において受講者には好評だった実績を踏まえ、新講座の開催にあたっては講座
内容をわかりやすく町民に広報することに努めるとともに、日時等など参加しやすい
方法を検討する。また、新講座については、興味のある初心者を対象とした講座を開
発し、生涯学習の裾野を広げることを目標に事業を進めていく必要がある。

② 南部町文化ホール事業

* 事業概要

芸術文化に関する住民の意識の啓発、教養の向上を目的とし、映画会、寄席、合唱発表会、コンサートなどの自主事業を実施した。

また、地域社会の振興に寄与するため、南部町民文化祭芸能発表会、内船歌舞伎の定期公演等へ協力し、その他ホールの貸館等を行っている。

【自主事業】

事業名	開催日	入場数	販売収入額
なんぶシネマ1「ドラえもん」 「シン・ゴジラ」	7月22日	262人	58,800円
なんぶシネマ2「この世界の片隅に」 「サバイバルファミリー」	8月19日	137人	20,300円
なんぶシネマ3「怪盗グルーのミニオン大脱走」 「関ヶ原」	3月10日	212人	46,900円
なんぶ演芸 出 演：三遊亭好楽 林家三平 長谷川一義(三味線)	7月16日	266人	535,500円
望月友美なんぶコンサート 出 演：望月友美 山口陽子 ゲスト：滝川裕美(フルート)	12月17日	173人	346,000円
チナツちゃんと探る楽器の不思議コンサート 山梨大学共催企画 出演：山梨大学教育学部学生及び演奏家	1月21日	71人	0円
計		1,121人	1,007,500円

※前年度自主事業販売収入額 1,163,700円

【有料貸館事業】

事業名	開催日	入場数	使用料
佐野友里ピアノ教室発表会	5月20日	60人	22,530円
JA組合員説明会	3月27日	100人	26,650円

【無料貸館事業】

事業名	開催日	入場数	使用料
町民文化祭芸能発表会	11月5日	593人	無料
内船歌舞伎定期公演	12月3日	400人	無料
南部町歌謡フェスタ	2月18日	400人	無料
小学校芸術鑑賞会 他54回使用	5月10日他	2,523人	無料
計	全57回	3,916人	—

* 成果【評価 3】

無料公演を含む6回の自主事業を実施。

また、山梨大学との共催事業として学生企画のコンサートの実施など新しい取り組みを

進めた。

*** 課 題**

集客が伸び悩んだ映画会については、再度日程の見直しが必要となるほか、自主事業全体としては集客率と費用対効果を考慮し、ホールの規模に合致した企画の選考と、地域と連携した住民参加型の企画づくりを更に進めていく必要がある。地域の文化振興に貢献するための貸館による施設稼働率を、今後さらに高めていくべきである。

5. アルカディア文化館（生涯学習課）

① 南部図書館・富沢図書館

* 事業概要

地域の情報拠点、学習の拠点となる図書館は、町民の学習要求の多様化、高度化に伴い、一般書はもとより専門書、学術書、地域資料、さらには公共図書館と学校図書館を結ぶネットワークの活用を図り、学習にあった多種多様な資料の収集及び提供を目的とする。

[南部図書館]

- 開館日数：286日
- 来館者数：17,139人
- 貸し出し冊数：44,808冊
- 主催教室事業
 - ・乳幼児・幼児・リトミック教室等
開催回数：37回
参加者数：765人
 - ・お話し会・読書指導（小学生対象）
開催回数：12回
 - ・アルカディアフェスタ2017図書館部門
開催日 9月17日 参加者数 239名
 - ・講座・教室・映画会
開催回数 21回 参加者数 397名

[富沢図書館]

* 事業概要

- 開館日数：285日
- 来館者数：4,135人
- 貸し出し冊数：13,682冊

* 成果 [評価 4]

乳幼児を持つ親子並びに小学生を対象にしたお話し会や工作、手遊び、映画会等を図書館ボランティアの協力を得ながら開催しているため、読書活動に対する意識効果は上がっている。アルカディアフェスタ2017図書館部門では図書館の魅力を、親子で楽しんでもらい盛会であった。

* 課題

利用者のニーズにあった本を提供するため、リクエスト等の情報の収集に努めるとともに、住民の読書支持率向上のための方策を検討していく。各種事業を開催することにより来館者数、貸出し冊数の増加を期待しているが、事業のみの参加となるケースが多い。

② 町立美術館

* 事業概要

町民が歴史と文化に興味を持ち、芸術向上の場として親しみやすい美術館運営を考慮し、郷土が誇る芸術家「近藤浩一路」の功績を称え、その作品を美術館に展示する。水墨画美術館として幅広く認知されるよう、又町内芸術家の情報発信、交流の場と

なるような事業を展開する。

○開館日数：287日

○企画展

- ・早蕨展 4月 2日～ 4月30日 345人
- ・国際墨彩画展 5月26日～ 6月11日 239人
- ・甲州と南部を愛する日本画家たち展
8月 1日～ 8月31日 755人
- ・近藤正寛写真展 10月26日～11月 9日 770人
- ・早蕨展 3月 4日～ 4月17日 530人

○常設展

区 分	期 間	入場者数
近 藤 浩 一 路 作 品 展	年4回展示換え(通年)	1,144人

* 成 果 [評価 4]

早蕨展・甲州と南部を愛する日本画家たち展・近藤正寛展などには多数の来館者が訪れ、町内外へ美術館をPRすることができた。その中でも町内在住の素晴らしい作家と作品に対して、多くの町民、また町外来館者に感銘を与え、賛辞をいただいた。

* 課 題

企画展の開催についても経費（印刷製本費、運搬委託料等）がかかってしまうため、今後は慎重に開催を検討する。また、情報発信は積極的に行い鋭意努力することが必要である。

6. 生涯スポーツの充実（生涯学習課生涯スポーツ係）

(1) 施設の充実と効果的な活用

① アルカディアスポーツセンター

○営業日数：309日

入館者数	人数	収入金額
内訳 プール・ジム	21,336人	(4,711,220円)
レッスン	15,835人	(8,724,500円)
体育館	3,542人	(413,820円)
		<u>13,849,540円</u>

○その他の施設：49,443人

内訳 テニスコート	5,406人	(399,420円)
野球場	6,012人	(508,460円)
運動場	4,911人	(104,840円)
富沢野球場	3,262人	(142,850円)
小中学校施設	29,224人	(531,760円)
柔剣道場	628人	(51,160円)
		<u>1,738,490円</u>

○主要教室事業

☆親子体操教室	48組	144,000円
☆シニアトレーニング	172人	516,000円
☆子供体操教室（年少・年中・年長・小1）	112人	336,000円
☆エアロビクス	51人	229,500円
☆大人初級・上級水泳教室	29人	87,000円
☆ズンバ	76人	342,000円
☆全身シェイプ&体幹強化（初級・上級）	250人	1,250,000円
☆やさしいエアロ	53人	238,500円
☆からだ整え体操	61人	244,000円
☆水中ウォーキング	50人	225,000円
☆フラダンス	62人	279,000円
☆はじめてアロマヨガ	74人	333,000円
☆リラックスアロマヨガ	65人	292,500円
☆チームダイエットなんぶ	35人	175,000円
☆チームダイエットなんぶプラス	18人	72,000円
☆小学生水泳教室	311人	3,110,000円
☆年中児水泳教室	58人	29,000円
☆ママの筋トレ教室	31人	93,000円
☆ボディメイクトレーニング教室	32人	160,000円
☆体操教室（生涯スポーツ係）	35人	140,000円
☆トランポリン教室（生涯スポーツ係）	42人	168,000円

合計 1,665人 8,724,500円

* 成 果 [評価 5]

教室事業については、3ヶ月ごとに教室の見直しを行っており、常に利用者ファーストの視点で教室事業を行ってきた。その結果、利用者数、事業収入ともに、前年を上回る成果が得られた。

* 課 題

平成25年度以降、利用者数、事業収入ともに右肩上がり推移してきているが、人口減少などの観点からみても、これまで以上に創意工夫し、常に利用者目線で、ニーズにあった教室事業の実施を行う必要がある。

②その他施設

* 事業概要

社会体育施設・学校体育施設の開放は、各体協支部、体協専門部、クラブチームの多数に利用されている。

* 成 果 [評価 4]

体育館・グラウンドとも年間を通して体協専門部、スポーツ少年団、クラブチームが利用しているほか、県外町外の団体利用が増加している。今後も、施設のPRはもちろん、旅行会社等にも積極的に働きかけ、より多くの利用者を確保していきたい。

* 課 題

アルカディア南部総合公園(スポーツセンター、テニスコート、野球場、運動場、周辺公園)及び社会体育施設は、管理面積が広く、職員数が減少している現状を考えると、管理機械等を順次整備することが必要である。

また、よりレベルの高い施設を目指し、老朽化による改修・安全性の高い施設の整備を順次実施していくことが必要である。

(2) スポーツグループの育成とスポーツの生活化

① スポーツ推進委員事業

* 事業概要

目 的：町民にスポーツの楽しさ、すばらしさを伝えるとともに、スポーツやレクリエーションの普及振興を図るための指導・助言を行う。

事業費：450千円（スポーツ推進委員会補助金）

事 業：1) 軽スポーツ普及事業

トランポリン・体操教室（11回）、スポーツ鬼ごっこ教室（2回）

2) 各種スポーツ大会への協力

アルカディアフェスタ2017、町民体育祭、駅伝マラソン大会

3) 各種研修

定例会（4回）、峡南研修（3回）、県研修（2回）

* 成 果 [評価 4]

スポーツ推進委員24名は町民に対し積極的にスポーツの普及振興に努めた。中でもトランポリン・体操教室・スポーツ鬼ごっこについては、指導有資格者を中心に指導ができた。また、体協事業の駅伝マラソン大会等ではスムーズな大会運営の協力ができた。

* 課 題

町の事業以外にも、各小中学校や地区活動へ積極的に出向き、スポーツ活動の推進を図る。

② スポーツグループ育成事業

* 事業概要

目 的：町民のスポーツ実施率の向上とスポーツの日常化を目指し、軽スポーツグループの育成を図る。

事 業：「南部リズム会」は平成１８年度から自主団体として活動し、毎月１回リズム体操教室を開催している。会員は年度末現在８７名。

* 成 果 [評価 ５]

南部リズム会は設立から１１年が経ち町民の中に定着している。５０歳から７０歳までの婦人層が中心で生活習慣病予防、体力づくりのほか会員の憩いの場として役割を果たしている。

* 課 題

リズム体操をするだけでなく、多種多様の活動も活発となっている。会員も増加傾向にあるが、男性の参加者を増やして行きたい。なお一層の啓発や事業の推進を図り、スポーツを積極的にしない町民の取り込みを図る。また、会員自身が更に主体的に活動し、運営していく体制を整えていく。

③ スポーツ教室・イベントの開催

* 事業概要

目 的：スポーツを振興し、町民の体力増進・健康を保持するとともに、人と人とのふれあいを育むコミュニティの場として、誰でも楽しめる軽スポーツを中心に教室を開催する。

事業費：教室謝金５１２千円、フェスタ４００千円、サンクスデー４８千円

事 業：１）各種教室の開催

教 室 名	開催日	開催回数	参加者数 (会員数)
ス ポ ー ツ 鬼 ご っ こ 教 室	８ 月 28・29 日	２ 回	180 人
ラ ー ジ ボ ー ル 卓 球 教 室	８ 月 19 日	１ 回	25 人
ソ フ ト ボ ー ル 教 室	11 月 19 日	１ 回	49 人
サ ッ カ ー 教 室	３ 月 10 日	１ 回	10 人
ト ラ ン ポ リ ン ・ 体 操 教 室	４ 月～２ 月	各 11 回	84 人
スキー教室 しらかば 2 i n 1	２ 月 19 日	バス 2 台	44 人
リ ズ ム 会	４ 月～３ 月	12 回	87 人
計			479 人

2) スポーツイベント

イ ベ ント 名	開催日	参加人数
チャレンジデー2017	5 月 30 日	5,361 人
ヴァンフォーレ甲府 サンクスデー	9 月 9 日	125 人
アルカディアフェスタ 2017	9 月 17 日	400 人

* 成 果 [評価 4]

日頃からスポーツの体験ができない方に対してのきっかけづくりとして大きな効果があり、各教室とも多くの初心者参加があった。また、フェスタでは、育成会対抗のスポーツ鬼ごっこ大会が盛大に開催されるとともに、プール無料開放のほか、エアリアル演技見学を実施した。

* 課 題

種目を固定化するのではなく、町民のニーズにあったスポーツやニュースポーツイベント教室を開催する。広くスポーツの楽しさやすばらしさを啓発するため、フェスタ・サンクスデーは継続して開催する。

(3) 組織の充実と連携

①体育協会

* 事業概要

目 的:生涯スポーツを推進するには体育協会と町行政とが緊密な連携を図る必要がある。

事 業: 体育協会は25支部、16専門部、6スポ少から組織され、教育委員会生涯学習課生涯スポーツ係が、庶務会計を担当しスポーツ振興を図っている。競技スポーツとしての一面と生涯スポーツの一面を有し、県体育祭への出場、町民体育祭・駅伝大会の開催、各種スポーツ教室の開催を年間事業としている。特に初心者を対象にしたスポーツ教室では各種目の普及を目指している。行政とも緊密な連携と協力体制が図られている。

事業費: 4,600千円 (体育協会補助金)

事 業 名	開催日	参加人数
第15回南部町民体育祭	10月8日	1,200人
第15回南部町駅伝マラソン大会 69チーム・49人が完走	1月28日	460人

* 成 果 [評価 4]

町と体育協会の連携が図られスポーツ事業が実施されている。特に町民体育祭・駅伝大会は町の一大行事として位置づけられている。

第5回目となったマラソン大会は、出場者が少しずつではあるが増加傾向にある。今後大きく飛躍する可能性を秘めている。

*** 課 題**

部員の減少等により活動が減少している専門部には、新規部員の取り込みのための教室を開催する。また、体協支部で軽スポーツ教室を開催する場合は専門指導者ができる限り協力し指導・普及を図る。教室開催にあっては、町民のニーズにあった種目を開催する。

各事業とも安全面には万全を期す。